



2022年2月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ビ ー グ リ ー
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 吉 田 仁 平

(コード番号：3981 東証第一部)

取 締 役

問 合 せ 先 管 理 部 担 当 役 員 兼 櫻 井 祐 一

広 報 I R 室 長

(TEL. 03-6706-4153)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2022年2月14日開催の取締役会において、2022年度～2024年度を対象期間とする3か年の中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

本中期経営計画は、当社の中期的な事業運営の指針となるものであり、中期的な事業戦略及び施策等について検討を重ねた内容であります。詳細につきましては、中期経営計画を添付しておりますので、そちらをご参照ください。

以上



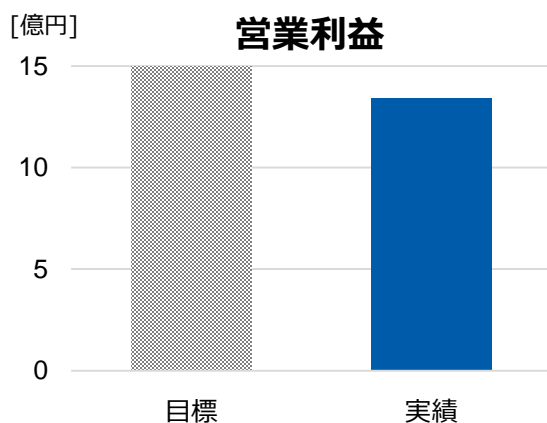
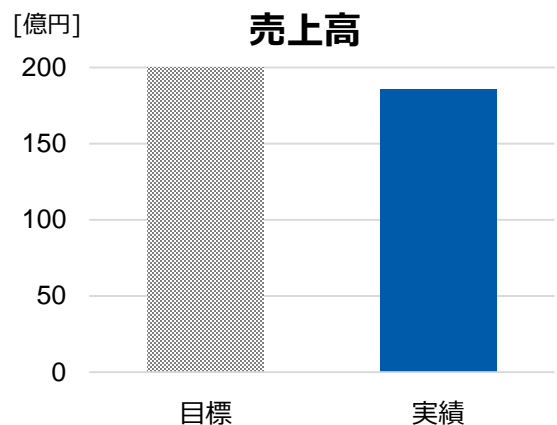
中期経営計画

2022.12期 - 2024.12期 3か年計画

2022年2月14日

前・中期経営方針（2019-2021年）

コミック配信会社から“コンテンツプロデュースカンパニー”へ



2021年度
(中期経営計画目標)

売上高
200億円以上

営業利益
15億円以上

2021年度
(実績)

売上高
186億円

営業利益
13.4億円

7% 未達

10% 未達

要因

プラットフォームセグメントにおける計画未達。

基本方針

中計修正時（20年11月）

結果

1

電子書籍市場で
確固たる
プレゼンスを確立

まんが王国に注力

ブランド構築&規模拡大

- ・ サービス認知度向上
- ・ 継続成長の実現

お得感No.1戦略浸透に時間を要す

- ・ ロイヤルカスタマーの蓄積進む
- ・ 21年は売上高前年比11%増
- ・ 販促最適化に時間を要し計画未達

2

ゲーム等その他
エンターテインメント
領域への参入

まんが王国とのシナジーを重視

収益確度厳選&投資縮小

- ・ ラノベは原作創出エンジンとして育成継続
- ・ ゲームにこだわらずアニメ・映像等

その他領域への参入苦戦

- ・ ゲーム：収益化叶わず
- ・ ノベルバ：コミック原作利用に活路

3

当社プロデュース
による
ヒット作品の創出

コンテンツの育成

ヒット作品の創出

- ・ ストア&メディア&データ解析力の強化
- ・ グループシナジーによるクリエイター、ユーザー向け付加価値を強化

M&Aにより
コンテンツ創出能力拡大

- ・ オリジナルコンテンツの売上拡大
- ・ シナジー創出は道半ば

4

海外含めた
新たな事業領域
への参入

新たな分野の展開

次の柱の育成

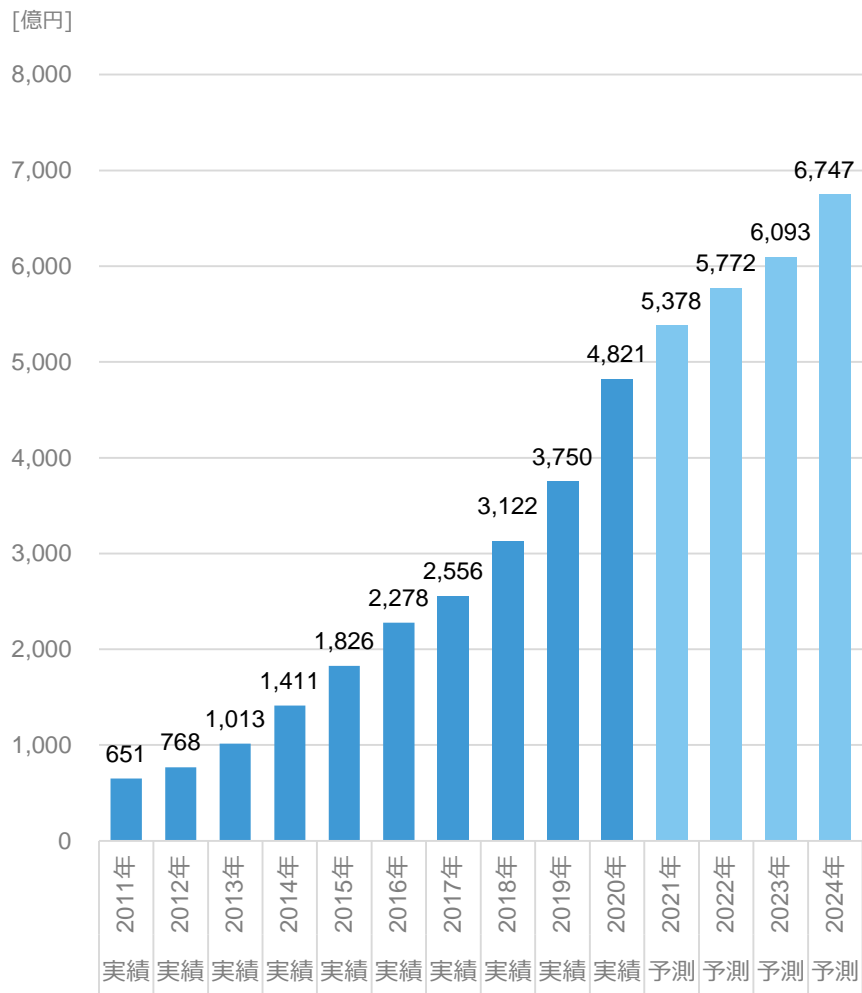
- ・ 海外展開を具体的に検討
- ・ コンテンツセグメントの継続成長

コンテンツセグメントを取得

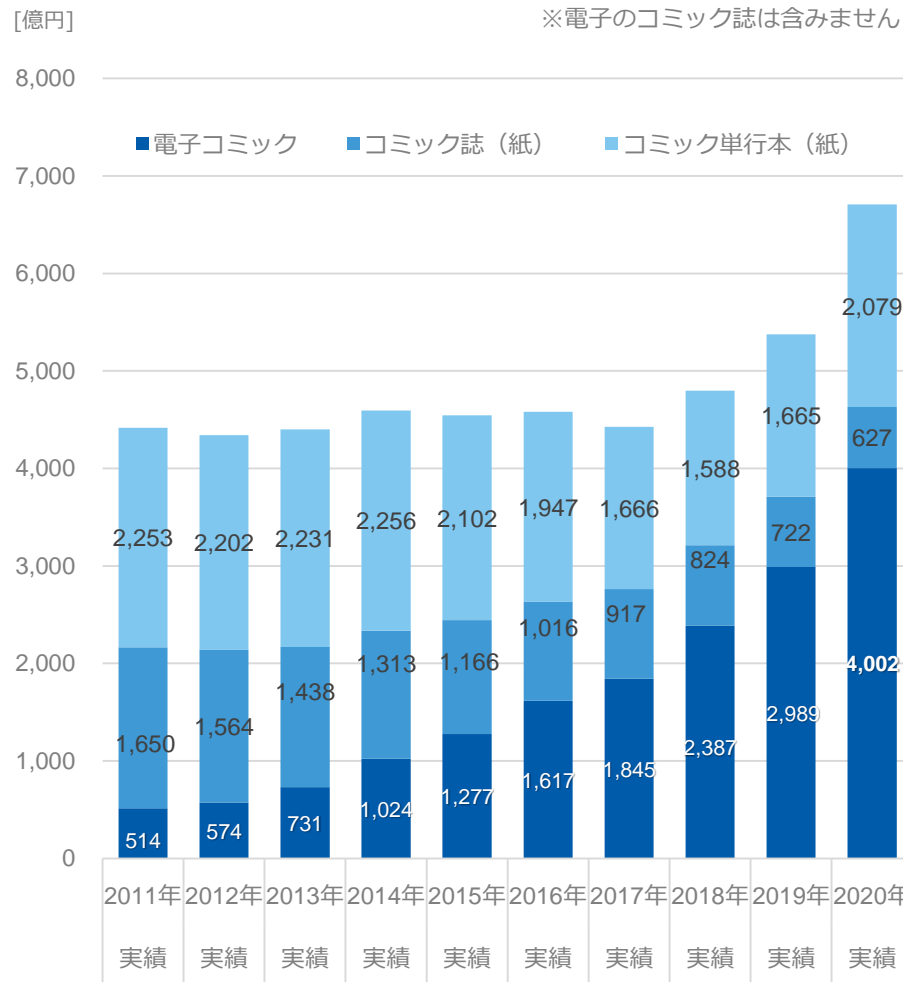
- ・ コンテンツセグメントの確立
- ・ 日本テレビとの資本業務提携
- ・ 海外展開の遅れ

注：日本テレビは日本テレビ放送網株式会社の略称、以下同じ

電子書籍の市場規模



コミック市場の推移



出典：「電子書籍ビジネス調査報告書2021」インプレス総合研究所／「出版年報」出版科学研究所

外部環境による影響予測(2022-2024年度)

プラットフォーム セグメント



サービスの強み・差別化がより一層重要に



➤ **電子書籍市場全般：**
新規ユーザー開拓は一巡し、なだらかな成長へ。



➤ **新型コロナウイルス：**
巣籠り需要とその反動を繰り返しながら、中長期では影響は軽減すると想定。



➤ **海賊版サイト：**
不透明。今後も注意深く情報収集を継続。

コンテンツ セグメント



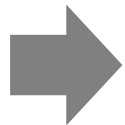
作品力・メディアミックス展開がより一層重要に



➤ **エンターテインメントコンテンツ市場全般：**
漫画とともに動画サービス等も伸長、競争激化。漫画のメディアミックス展開は引き続き活況を見込む。



➤ **新型コロナウイルス：**
中長期では影響は軽減すると想定。



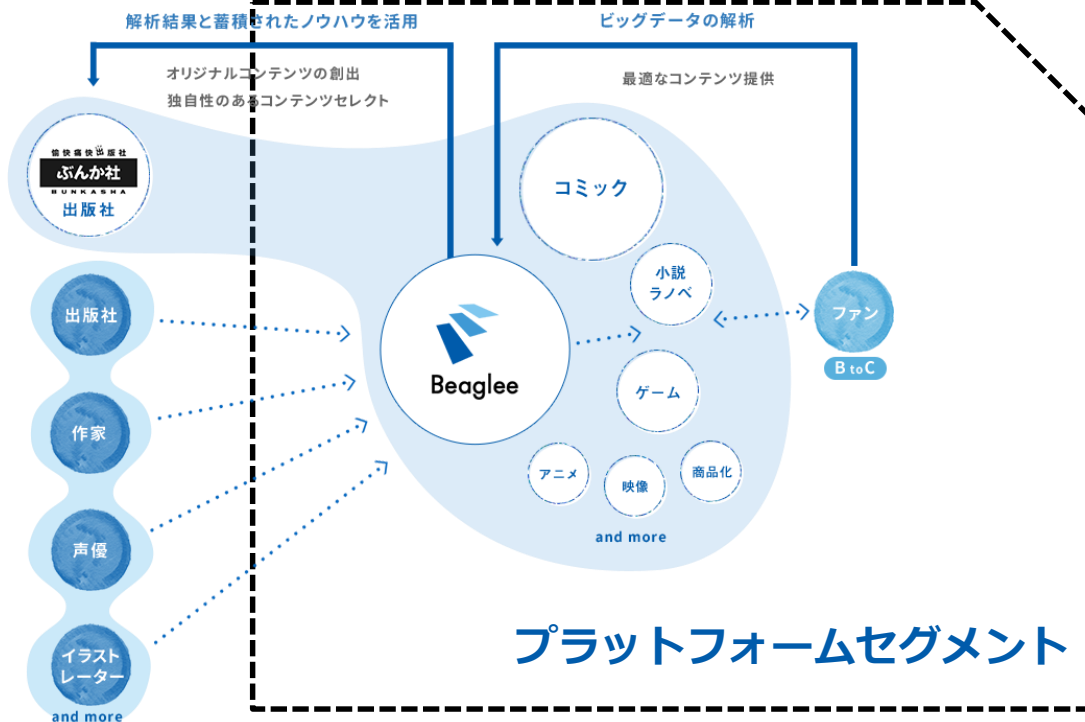
➤ **海賊版サイト：**
影響を受けにくいジャンル特性は変わらず。

コンテンツプロデュース型拡大戦略

ユーザー＆コンテンツ資産の蓄積にノウハウを持ち、メディアミックスによる相乗効果も含めて両輪の成長を目指す

当社グループの場合

『まんが王国』『ぶんか社グループ』を両輪に日本テレビとの資本業務提携でメディアミックスを加速。海外展開、漫画以外のコンテンツ展開も視野。



大量広告＋シェア拡大戦略

課金ユーザー獲得・維持に大量の広告宣伝費を投下することで成長を目指す電子書店群

経済圏型拡大戦略

既存ユーザーの経済圏を活用し成長を目指す電子書店群



2022-2024年

コンテンツプロデュースカンパニーとしての成長

1

グループ成長を支える
基盤としての
『まんが王国』安定成長

2

コンテンツ創出力の
強化とメディアミック
スの実現

3

海外展開

1 グループ成長を支える基盤としての『まんが王国』 安定成長



ロイヤルカスタマー獲得・定着・育成

読めば読むほどお得
お徳感戦略

ここだから読める
作品の創出・提案

テクノロジー・データ分析による運用業務の高度化

広告運用・サイト運用、機械学習導入、データをハブに部門間連携

2 コンテンツ創出力の強化とメディアミックスの実現

漫画作品創出力+プロデュース力強化による メディアミックスの積極推進



➤ ぶんか社グループによる作品創出力の増強

主カジャンルの成長と新ジャンルの開拓を推進

編集人員の育成強化

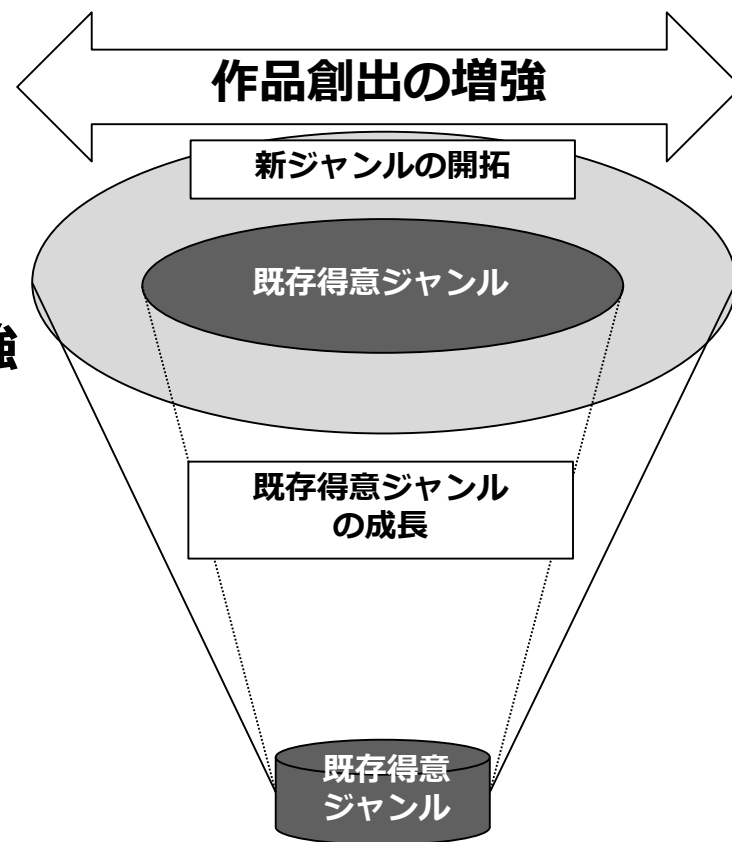
➤ データ分析を用いた作品創出

作品創出においてもデータドリブン運営を転用

➤ アライアンスによるプロデュース力強化

日本テレビとの協業加速

他のIPホルダーとの協業拡大



3 海外展開

海外向け電子コミックサイトをオープン

22年度中に英語版(北米向け)の
テストローンチ

24年度には広告出稿を拡大
成長ドライバーに育成



自社開発体制増強

第三の収益の柱を想定して育成、自社リソースを整備

自社翻訳体制整備

出版社翻訳作品に留まらず自社で翻訳できる体制を整備することで高収益なビジネスモデルを構築

まんが王国運営ノウハウの転用

サイト運営・広告運用など国内事業の経験値をベースに海外市場向けに最適化



日テレ

世界でヒットするコンテンツの共創



0テレ

Action :

①クリエイターの発掘・育成・支援

各種共同企画の推進

②原作の相互利用

当社グループ作品の映像化と日本テレビIPの漫画化

③メディアミックス展開へのチャレンジ

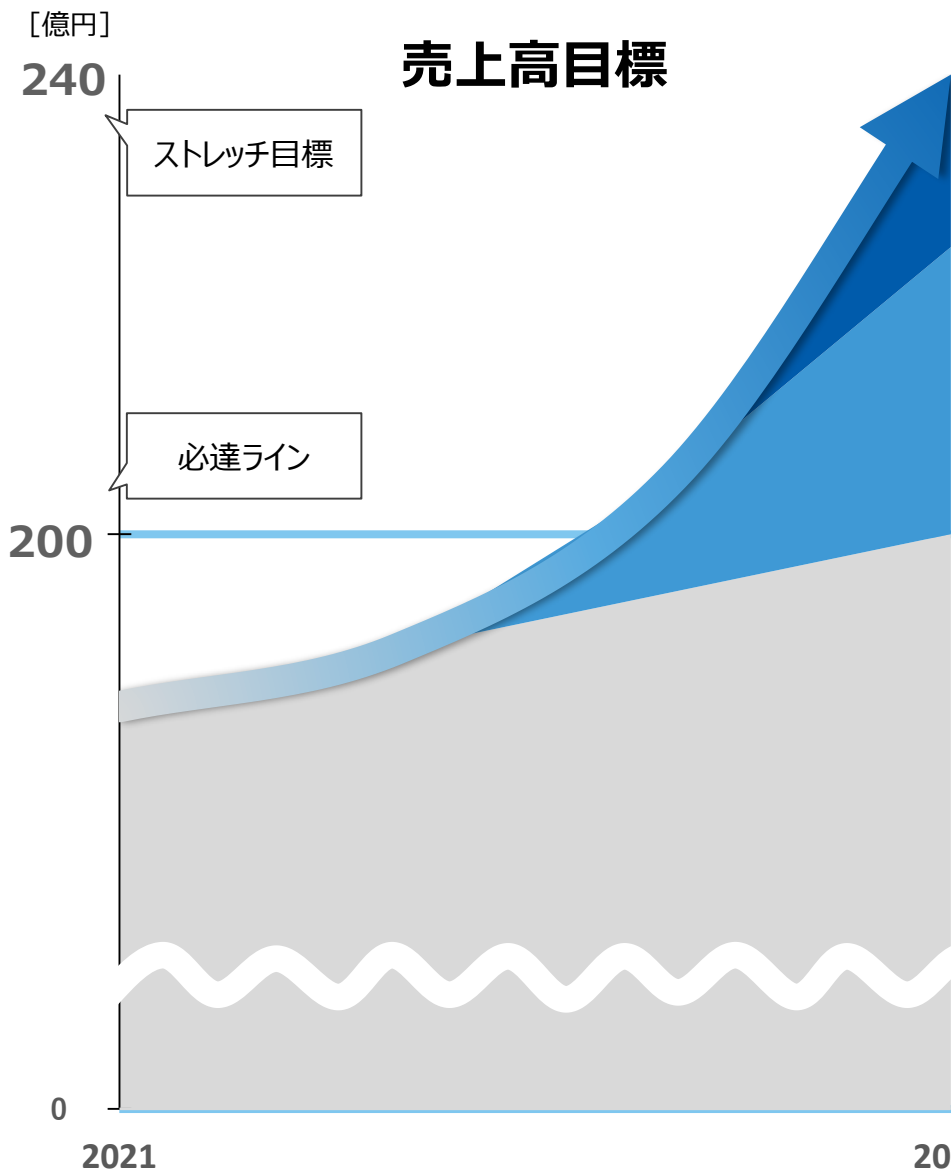
共創作品に留まらず当社グループ新旧作品などから
イベントほかメディアミックス展開による
集客・ライセンス収益

④プラットフォームの強化

テレビから「まんが王国」への誘導



各取組によるまんが王国・ノベルバ・グループ作品のブランディング効果



15億円 **海外展開によるアップサイド**

25億円 **ヒット作品やシナジー効果（日テレ・グループ間）による既存重点領域（まんが王国やCセグデジタル売上高）アップサイド**

最終年度の数値目標 [百万円]

	必達ライン	ストレッチ目標
売上高	20,000	24,000
営業利益	2,150	2,400
純利益	1,200	1,350

収益力向上による増配の実現

～配当性向10%維持～

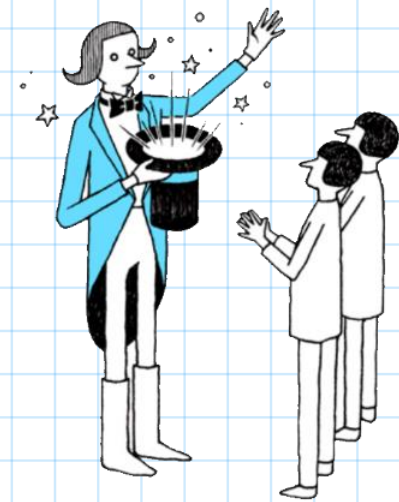
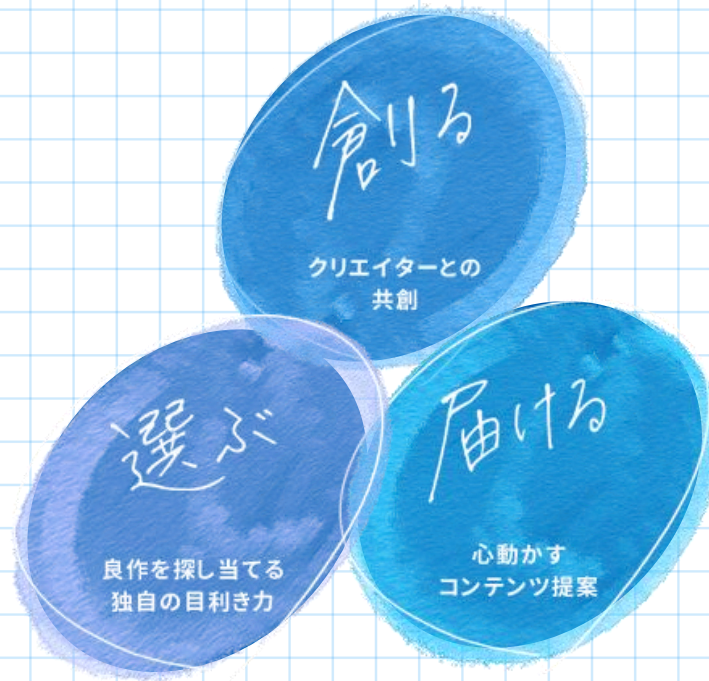
株主の皆様への利益の還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置付けております。中長期的な事業拡大、リスク対応等のための内部留保に配慮しつつ、重点分野への投資を実行しながら、株主還元を実施します。

現在、利益還元の一環として、『まんが王国』内をご利用いただける図書券を株主優待として贈呈しており、こちらは当社へのご理解をより一層深めていただくことも目的としております。

注意事項

- ▶本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。
- ▶これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ▶それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ▶本資料内には、事業環境の説明を行う上で参考になると考える情報を掲載しておりますが、会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。
- ▶今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- ▶本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。

クリエイターとファンを繋ぎ、 新たな価値を創造する



株式会社ビーグリー(Beagle Inc.) 証券コード : 3981

Email : ir@beagle.com